



京都支部
二次元
バーコード



パナソニック松愛会
京都支部
2024年3月
第52号
発行人 高橋 睦夫
編集人 森 誠三

京都支部ホームページ <http://www.shoai.ne.jp/kyoto>

「2024年新春懇親会」を開催しました

2024年1月20日(土)、からすま京都ホテル3階「瑞雲の間」にて104名(京都南支部より2名参加)の会員の皆さんが集い、「京都支部新春懇親会」が盛大に開催されました。定刻の11時に田中支部役員の司会で開始。冒頭、協賛会社様のご挨拶を頂戴した後、第1部のアトラクションは桂米朝一門の新進気鋭の若手落語家である「桂小鯛」さんの身振り手振りを交えた小道具・仕草・オチなど落語の楽しみ方入門とお馴染みの演目「時うどん」小休憩を挟んだ後、高橋支部長による松愛会の新たな50周年に向けての取り組みと決意の年頭挨拶、益田前支部長による音頭で乾杯の後、第2部の懇親会が始まりました。

今年は新型コロナの5類への移行により制限が緩和され、今年はテーブルの亚克力板による仕切りもなくなり、皆さん和気藹々と食事と歓談を楽しまれました。

しばし歓談の後、「恒例の新春抽選会」が始まり、壇上には豪華な賞品が並べられました。

今回は京都パナホーム様、からすま京都ホテル様から特別賞、また当日のアトラクションに出演の桂小鯛様からも急遽賞品を頂きました。抽選箱から次々と当選者が発表されるたびに会場は拍手と次の当選への期待で大いに盛り上がり、当選者の記念撮影も行われ皆さんには大変楽しんで頂けたことと思います。

予定の時間もあっという間に経過し、中締めとして、本年「辰年」の年男であります右京区の藤川泰様の発声により、会員の皆さんのご多幸と健康を祈念して、一丁締めでお開きとなりました。



※二次元バーコードでホームページをご覧ください。



桂小鯛さんの落語



高橋支部長の挨拶



益田前支部長の音頭で乾杯



和気藹々と食事と歓談



一等賞が当たりました



年男の藤川さんの中締め